



IXIL 床材 リノバ うわばReフロア 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

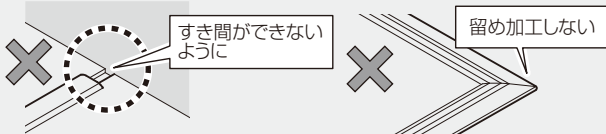
▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●床見切り材(アルミ)は切断面でケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・連結して使用しないでください。
- ・取付け位置の端部にすき間ができないように長さを調整してください。
- ・留め加工しないでください。



●床見切り材(アルミ)の取付け後、浮かないように養生テープで固定してください。段差ができるとつまずいてケガをするおそれがあります。

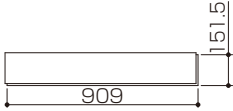
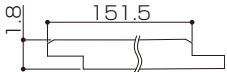
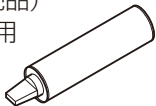
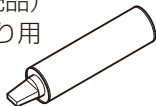
保管・施工前のお願い

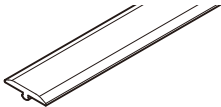
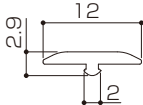
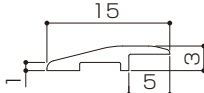
- 本製品は、既存の木質系床材または直張り防音床の上に重ね張りする床です。
※直張り防音床の上に重ね張りできますが、防音性能を保証しているものではありません。
- 床材が破損したり、床材の浮き、床鳴りの原因となるので下記の下地には使用できません。
 - ・根太、コンクリートスラブ、床暖房パネルへの直接施工
 - ・木質系床材以外の下地(カーペット、クッションフロア、畳など)※施工要領に従い下地を張り替えてください。
 - ・くされ、カビ、はがれがある既存の床
- 取付け後の不具合は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 一般住宅屋内用の床です。土足で使用する場所や頻繁に水ぬれする場所には使用できません。
- 浮き・はがれ防止のため、専用の接着剤、両面テープで施工してください。
- 反り・曲がりの原因になるので、立てかけて保管しないでください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	下地の凹凸や段差は調整済みですか？	☐
2	目地をずらして割り付けしましたか？	☐
3	指定の接着剤、両面テープを指定の位置、量で施工しましたか？	☐
4	張り付け後、体重をかけて圧着しましたか？	☐
5	指定期間養生しましたか？	☐

■部品・部材の明細および接着剤使い分け表

部材	断面図	入数
上張床 1.8mm 		24
上張床接着剤・両面テープ		
接着剤(別売品) 一般床下地用 1坪/本 	商品コード LZZZZ064	内容量 760mL カートリッジ
接着剤(別売品) 床暖・直張り用 1坪/本 	商品コード LZZZZ065	内容量 760mL カートリッジ
両面テープ(別売品) 1坪/個 	商品コード LZZZZ063	内容量 48mm× 30m巻

床見切り材(アルミ)			
部材	断面図	長さ	入数
薄床見切り材(アルミ) 		2000mm	1
段差解消部材(アルミ) 		2000mm	1

■必要な工具・材料

チェック欄	名称	チェック欄	名称	チェック欄	名称	チェック欄	名称
☐	墨つぼ	☐	カッターナイフ	☐	コーキング材	☐	2液式エポキシ樹脂 接着剤(硬化時間 30分以上)
☐	カンナ	☐	ウエス	☐	清掃用具		
☐	スケール	☐	ワックスクリーナー	☐	養生テープ(LZZZ004)		
☐	差し金	☐	マスキングテープ	☐	養生シート(LZZZ005)	☐	手鋸
☐	サンドペーパー	☐	パテ	☐	コーキングガン(大)	☐	コーキングガン(小)

■施工前の準備

施工前準備のお願い

- 浮き・床鳴りの原因になるので、下記事項をお守りください。
 - ・既存の床仕上げ材に浮き、床鳴りの発生がある場合は、ねじ止めなどで補修をしてください。
 - ・下地の継ぎ目などの段差は0.5mm以下としてください。0.5mm以上ある場合はサンダーなどで調整してください。
 - ・既存の床仕上げ材の不陸は1mにつき5mm以内としてください。不陸が5mm以上ある場合は、凸部はサンダーなどで削り、凹部はパテなどで埋めてください。
 - ・カーペット、クッションフロア、床タイルなど薄く凹凸のあるものは剥がしてください。
 - ・畳は剥がした後、高さ調整をしてください。
- 接着不良による浮き・床鳴りの原因になるので、下記事項をお守りください。
 - ・下地表面にワックスを使用している場合はワックスを除去してください。
 - ・掃除をして、ゴミ、ホコリを取除いてください。
- 波打ち、膨れとなるため、下地の含水率は14%以下にしてください。

①幅木の取り外し

- ・既存の幅木を外してください。
- ※既存の幅木に突きつけて施工する場合は、幅木と1～2mmすき間をあけてコーキング材ですき間を埋めます。

②下地の準備

必要に応じて下地合板を補強します。

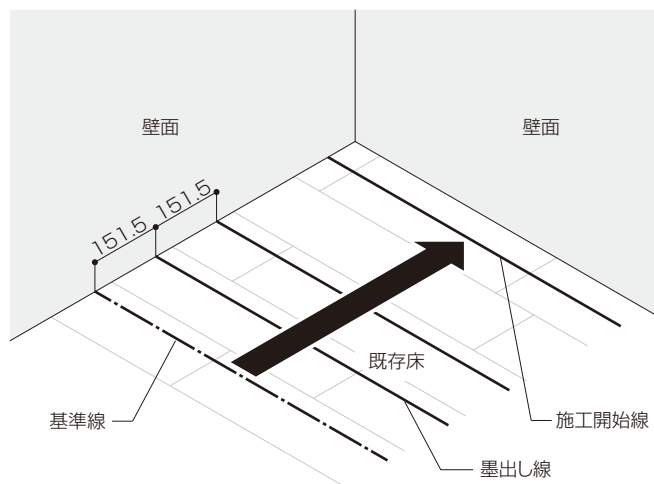
■床の施工

床張り付け前のお願い

- 段差や床鳴りの原因になるので、下記事項をお守りください。
 - ・上張り床の継ぎ目は、既存床の継ぎ目とずらして割り付けてください。
 - ・既存床材短手継ぎ目と上張り床短手継ぎ目は50mm以上ずらして割り付けてください。
 - ・両面テープは体重をかけるなどして、浮きやヨレなく下地に圧着させてください。
 - ・既存床の温度が15℃以上になるように暖房器具などで温めてください。

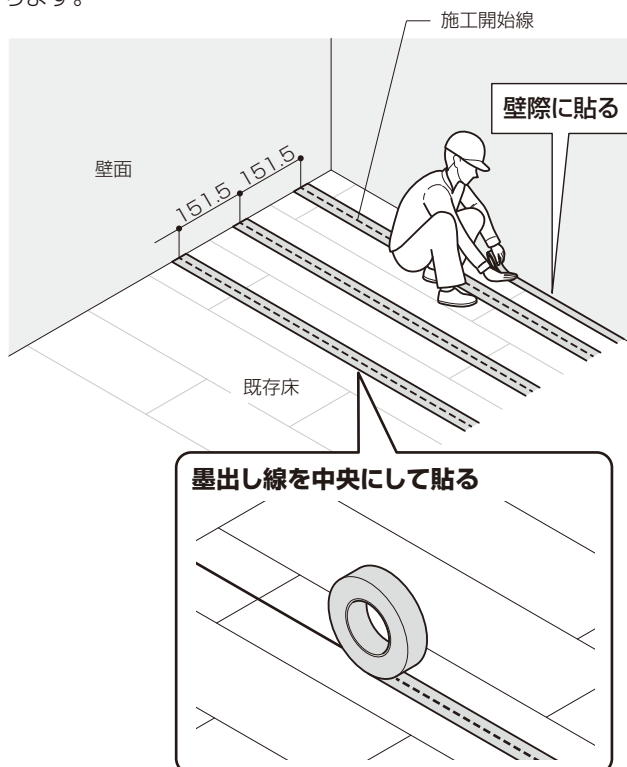
①割り付け・墨出し

- ・仮並べして色・柄のバランスを確認してください。
(張り合わせはレンガ張りをおすすめします)
- ・墨出しを行ない、張りはじめの施工開始線を決めます。



②両面テープ貼り

両面テープを墨出し線上(151.5mm間隔)および壁際に貼ります。

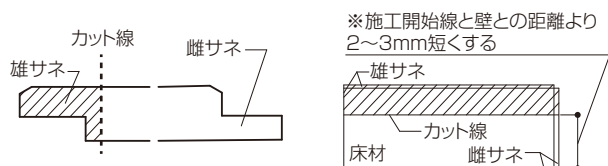


張り付け上のお願ひ

- 経年によるはがれを防止するため、必ず接着剤を併用してください。
- 一度張ると位置を動かせません。慎重に張ってください。
- 外観不良になるので、表面に接着剤が付着したら、すぐにふき取ってください。
- 浮き・床鳴りの原因になるので、床を張り付ける直前に両面テープのはく離紙をはがしてください。
- 接着不良による浮き・床鳴りを防止するため、下記の時間内で施工してください。
夏 季：塗布後5分以内
春・秋：塗布後10分以内
冬 季：塗布後30分以内
- 欠けや割れの原因となるので無理にたたき込んだり、足でけったりしないでください。

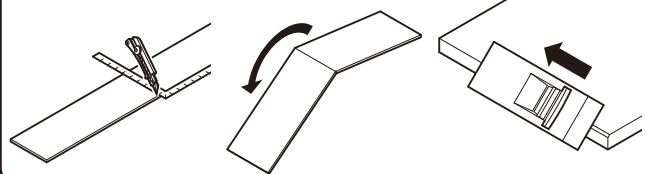
■張りはじめ

- ①張りはじめは、雄サネ側を切断してください。
- ②施工開始線と壁際の距離より2～3mm短く切断してください。

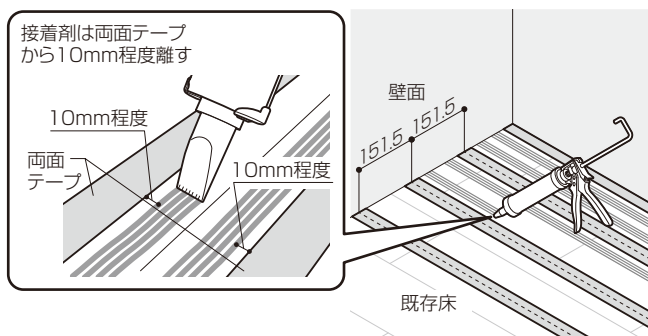


【切断の仕方】

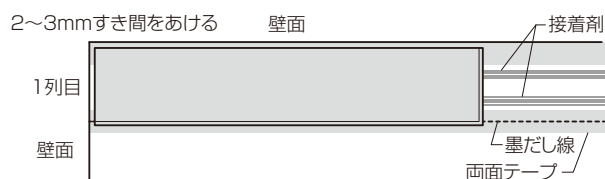
1. カッターナイフで切れ目を入れる。
2. 切れ目を曲げて折る。
3. カンナで面取りをする。



- ③同梱の専用ノズルを使い、下地側に接着剤を塗布します。
※両面テープと平行に塗布してください。

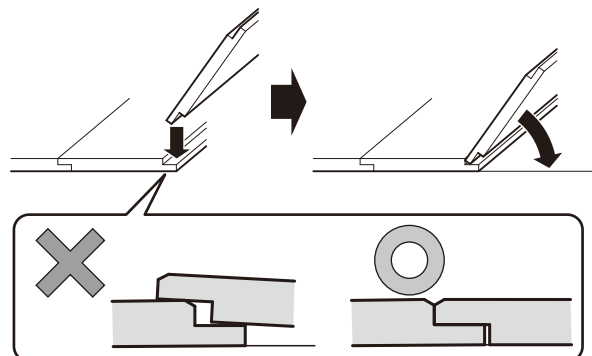


- ④接着剤塗布後に両面テープのはく離紙をはがします。
- ⑤壁面から2～3mmのすき間をあけて、墨出し線に合わせて張ります。



張り付け上(2列目以降)のお願ひ

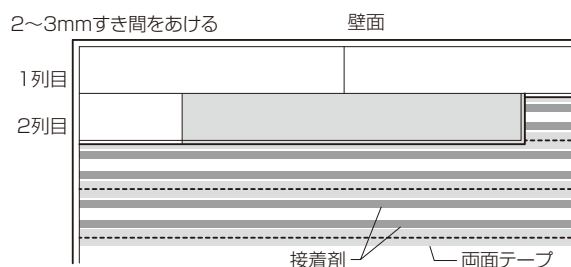
- 接着剤はみ出し防止のため、サネを乗せてから全体を張り合わせてください。
※その際、雄サネが乗り上げないようにしてください。



- 外観不良になるので、接着剤がはみ出したらすぐにふき取ってください。

■2列目以降の施工

- ①2列目以降の床材はレンガ張りとし、床材の継ぎ目が重ならないようにし、1列目と同様に張り込んでください。

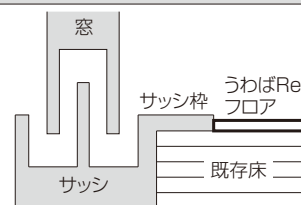


- ②体重をかけるなどし、全体を圧着してください。
- ③張りじまいも張りはじめ同様に、壁際までの距離より2～3mm短く切断し、2列目以降同様に施工してください。

■見切り部の納め方

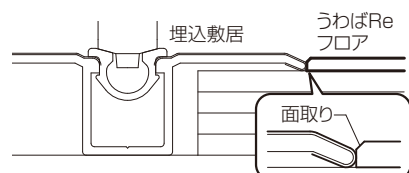
既存床との段差: 1.8mm以上(サッシ枠など)

突き付けて納めることができます。

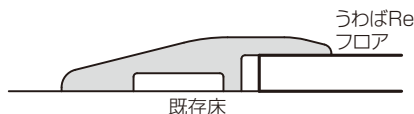


1.8mm以下

突き付けて納めることができます。
※指がかりが気になる場合は更に面取りしてください。



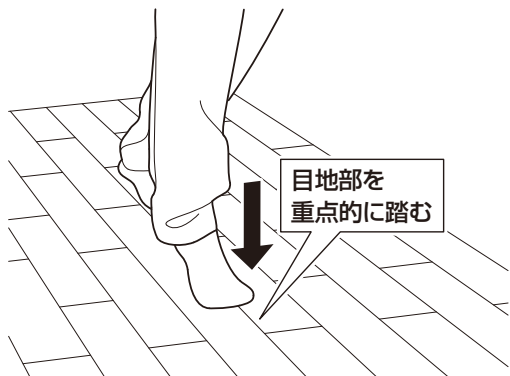
専用の床見切り材(別売品)をご用意ください。



■施工の仕上げ

仕上げ上のお願ひ

- 浮き・はがれ・段差・床鳴りの原因となるので、床材を下地に十分に密着させてください。



- ①張り上がった床材の上から体重をかけて圧着します。
- ②幅木を取付けてください。

施工後のお願ひ

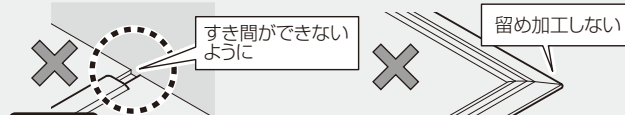
- 施工後、製品に同梱の「取扱い説明書」はお施主さまにお渡しください。
- 施工後、床上で作業する場合は、ゴミ、接着剤などを取り除き、養生シート(LZZZZ005)などで養生してください。養生シートの固定には、別売品の養生テープ(LZZZZ004)をご使用ください。市販のガムテープなどは、粘着力が強いため、表面材のはがれの原因となります。
- 指定の養生期間を守って使用開始してください。
 - ・歩く : なし
 - ・走る・跳ぶ : 張り付け後5時間以上
 - ・家具を引きずる : 張り付け後5時間以上
 - ・床暖房 : 張り付け後4日以上
- ※施工直後に1kg/cm²程度の重量物(グランドピアノなど)を置く場合は敷板などを敷き、重量を分散してください。(敷板を外す場合は、4日以上経過してから外してください。)
- 汚れのひどいときは、固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。その後、乾いた布で拭いてください。
- 表面に密着しないのでワックスは使用しないでください。

■床見切り材の施工

▲注 意



- 床見切り材(アルミ)は切断面でケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・連結して使用しないでください。
 - ・取付け位置の端部にすき間ができないように長さを調整してください。
 - ・留め加工しないでください。



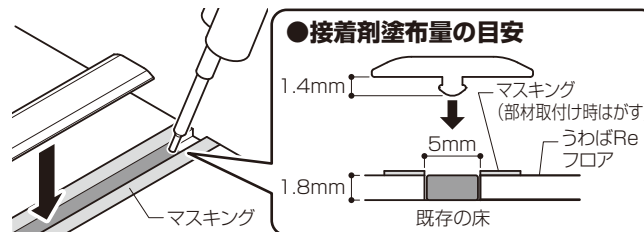
- 床見切り材(アルミ)の取付け後、浮かないように養生テープで固定してください。段差ができるとつまずいてケガをするおそれがあります。

床見切り材の施工上のお願ひ

- 床見切り材のはがれを防ぐため、指定の接着剤を使用してください。
 - ・2液式エポキシ樹脂接着剤(硬化時間30分以上)
- 外観不良になるので、はみ出た接着剤はすぐに拭き取ってください。

【薄床見切り材(アルミ)の場合】

- ①床のすき間の両側にマスキングをし、接着剤を充てんします。
- ②マスキングをはがし、部材を溝に差し込みます。
- ③部材取付け後、養生テープを貼り、固定してください。



【段差解消部材(アルミ)の場合】

- ①図の位置にマスキングをし、接着剤を塗布します。
- ②部材を取付けてください。
- ③部材取付け後、養生テープを貼り、固定してください。

